

石巻専修大学特集

http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号

0225 (22)7711

「安全・安心」の大学 社会に貢献

1989(平成元年)、宮城県石巻市に開学した石巻専修大学は、理工学部4学科、経営学部1学科で構成される4年制大学として、地域はもとより広く国際社会の発展に寄与できる高度な専門知識と豊かな教養を身につけた人材をばぐんできた。

また、東日本大震災後は「地域と共にある大学」として震災復興支援に深くかかわり、その使命を果たしてきた。東日本大震災では頑強な建物、万全の耐震性を備えた設備、教職員の高い危機管理能力が実証された。「安全・安心」の石巻専修大学の新たな構想や学びの特徴について、坂田隆学長と両学部長に伺った。

坂田 隆学長



震災から1年。かつてない真剣なまなざしと意欲をもって講義に臨む学生たちの姿に接し、彼らがこの1年で大きく成長したことを実感しています。

震災に伴う修学支援の対象となった642人の学生が1人も退学しなかったことは私にとって大きな喜びです。つらいことを乗り越え、人の痛みが分かる学生にこそ、社会を率いる人材に育ってほしいと願っています。

震災以降、石巻市においては「人口の減少」と「家庭所得の低下」が著

育成を目指します。理工学部では、13年度より「食環境学科」と「生物科学科」を新設し、震災後の産業基盤回復に向けた即戦力の育成と、東北の生物資源を保全する科学者や技術者の育成をめざす体制を整えています。

◆地域との絆を礎に 復興共生プロジェクト

被災地に根を張る大学でしかできないことを多面的に、かつ迅速に対応しようという発想で立ち上げた「復興共生プロジェクト」が、文部科学省の「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されました。



▲ 研究用の風力発電装置

市などと連携し、被災地域の防災と復興に関する5年間のプロジェクトを進めています。たとえば、津波に強い車の研究プロジェクトでは、運転中に被害に遭い、一命を取り留めた方の聞き取り調査や学内の貯水池に車を実際に沈めるなどの実験を行っています。また、自然エネルギーを使用した浄水プラントの開発プロジェクトではキャンパス内に2基の風力発電装置を設置しました。

この経験がどれほど価値のあることかは、社会人になったときに学生自身が行うことになるでしょう。これこそ本学の教育目標である「実践的な教育」です。学生一人ひとりがさまざまな経験を通して課題を見つけて成長することが、大学教育の本質であると考えています。

専門知識を柔軟に生かす

復興共生プロジェクト 学生に「実践的な教育」を

◆新学部と新学科

2013年度から、地域の「文化・教養」を担う分野として新たに「人間学部」を開設する準備を進めており、現在設置認可申請中です。文化や社会教育にかかわる人材を育成する「人間文化学科」と、保育園や幼稚園、小学校など初等教育に携わる人材を育成する「人間教育学科」で構成され



▶ 東日本大震災から1年。学生たちは大きく成長した

これらプロジェクトには多くの学生が参加し、専門分野の応用研究を進める一方で、外部の方々と直接コミュニケーションを取り、主体性を発揮して行動しています。一方、プロジェクトに参加する教員もまた、それぞれの専門領域をさらに広げており、「大学の教育と研究の高度化を図る」という復興共生プロジェクトの本来の目的を実現しつつあります。

研究の成果は学生に還元されるべきであるという視点でプロジェクトに取り組んでいます。地域



丸岡 章

理工学部長

理工学部は、理学と工学をベースにした専門知識と技術を極め、社会に貢献できる人材を育成してきました。地域に貢献する意欲を醸成し、時代の流れに引き合う中で、学科の編成を見直し、2013年度より、「食環境学科」と「生物科学科」を新設します。

時流に向き合い 学科編成を見直し

「食環境学科」は、食と環境について考える学科と位置づけ、食料生産や食品加工に必要な技術、食の品質と安全を支

「生物科学科」は、生物科学が21世紀に最も注目される科学分野という観点から、サイエンスの視点に焦点を合わせて強力な教育プログラムを展開します。生物科学科にはありとあらゆる可能性が見いだせました。自治体から寄せられた「破壊された藻場の再生をしたい」「金華山に生息する鹿の調査をしたい」といった具体的な要請にも応えてきたという実績もあります。多彩な教員陣、綿密なプログラムに基づく本格的な海洋実習を行います。私学でこれだけの生物科学を学べる大学は東北唯一



▲ 実習・実験を通じた人材育成も特徴

経営学部では常に時代の変化に沿った経営学あり方を検討するため、ブラッシュアップ委員会を設置し、学生の視点に立ってさまざまな改革を進めています。

卒業後を履修モデルでイメージ

相良 勝利 経営学学部長

高度専門ゼミは、ゼミナールの一環として開設され、税理士、国内旅行業務取扱管理者、情報技術者の各資格取得を目指す学生およびフィールドワークを通じて地域研究を目指す学生のために、実践力を重視したサポート



▲ 教員との対話を図る授業も魅力

ト体制を確立しています。現在、経営学部の教員による地域活性化研究会を立ち上げ、学生、地元企業や自治体、NPO団体などが連携して、商品開発による地域活性化や、被災者に対する支援活動を行っています。また、「簿記に強い石巻専修大学」をさらに強化するべく、1年次の会計学入門を必修にし、日商簿記2、3級の合格者数が前年度比2.5倍という成果を上げています。仙台大原大原簿記学校との提携による課外講座や学習支援室など支援体制を整え、来年度からは、全商1級、日商2級などの簿記資格取得者を対象とした資格取得者入試制度を導入します。